

2024(令和 6)年度 事業実施状況

I 先端科学技術推進機構

1 シンポジウム

名称：第 29 回関西大学先端科学技術シンポジウム（2025 年 1 月 23 日～24 日）
 セッション参加延べ人：852 人 開催形式：一部ハイブリッド開催
 テーマ：フィールドを超越する先端科学技術

（特別講演）

開催日	演題	講演者	会場
2025. 1. 23	分野を跳躍する固体触媒技術 ～医学に関わる化学から水素エネルギーまで～	和田 健司 国立大学法人香川大学 副学長（国際戦略・グローバル環境整備担当） 医学部教授	100 周年記念 会館・ウェビ ナー配信

（4 研究部門によるメインテーマ関連セッション）

開催日	部門	セッションテーマ	演題	講演者	会場
2025. 1. 23	E	常識を超越して環境問題に挑 む機能材料	【招待講演】 人工光合成に向けた粉末光触媒の開拓と機 能制御	白石 康浩 大阪大学大学院 基礎工学研究科 准教授	100 周年 記念会館
			CO ₂ 分離回収に向けたゲート型吸着剤の開 拓と機能制御	田中 俊輔● 環境都市工学部 エネルギー環境・化学工学科 教授 樋口 雄斗 環境都市工学部 エネルギー環境・化学工学科 助教	
	I	深層グラフニューラルネット ワークとその先端的应用事例	【招待講演】 深層展開を用いたグラフ上データのノイズ 除去と補間	田中 雄一 大阪大学 大学院工学研究科 電気電子情報通信工学専攻 教授	
			時間発展を考慮したグラフ学習によるフェ イクニュース検出	阿部 知希（大学院生） 吉田 壮● システム理工学部 電気電子情報工学科 准教授 棟安 実治 システム理工学部 電気電子情報工学科 教授	
2025. 1. 24	B	フィールドを超越する先端科 学技術	【招待講演】 分子動力学シミュレーションと機械学習に よる蛋白質高機能化	亀田 倫史 国立研究開発法人 産業技術総合研究所 人工知能研究センターオーミクス情報研究チーム 上級主任研究員	
			時差ボケ解消を目指した概日リズム研究	山口 賀章 化学生命工学部 生命・生物工学科 准教授	

※●は講演者

（センターによる発表セッション）

開催日	センター	演題	講演者	会場
2025. 1. 23	社会空間情報科学研究 センター	施工空間の安全安心に寄与する映像解析技術の研究開発（社 会活動 WG）	寺口 敏生 流通科学大学 経済学部 情報経済学科 講師	100 周年 記念会館
		SfM を活用したスポーツシーンにおける任意視点画像からの 撮影位置と選手位置推定および自由視点の生成技術の研究 開発（スポーツ WG）	姜 文淵 大阪産業大学 准教授	
		3 次元点群データを用いた橋梁のパラメトリックモデル生成 技術の研究開発（社会基盤 WG）	中原 匡哉 大阪電気通信大学 総合情報学部 情報学科 講師	
	医工薬連携研究 センター	抗がん活性を目指した新規ルテニウム錯体の開発	石田 斉 化学生命工学部 化学・物質工学科 教授	
概日リズム解析に基づいた光免疫療法の最適化		山口 賀章 化学生命工学部 生命・生物工学科 准教授		
2025. 1. 24	地域再生センター	【招待講演】 社会インフラとしてのリビングラボ ー人口減少時代のオープンイノベーションプラットフォーム が備える機能とはー	木村 篤信 地域創生 Co デザイン研究所（NTT グループ） ポリフォニックパートナー/ 日本リビングラボネットワーク 代表理事	100 周年 記念会館・ Zoom 配信
		リビングラボによる地域のイノベーション	北詰 恵一 環境都市工学部 都市システム工学科 教授	

(研究グループによる発表セッション)

開催日	研究グループ	演題	講演者	会場
2025. 1. 23	橋梁・機械設備の健全性モニタリング	【招待講演】 社会・産業インフラ維持のための超階層サイバーフィジカルシステム	増田 新 京都工芸繊維大学 教授 産学公連携推進センター長	100周年 記念会館
		橋梁の構造健全性診断のための自立型センシングシステムの開発	寺井 駿矢●(大学院生) 小金沢 新治 システム理工学部 機械工学科 教授 谷 弘詞 システム理工学部 機械工学科 教授 呂 仁国 システム理工学部 機械工学科 教授 川田 将平 システム理工学部 機械工学科 准教授	
		スラスト軸受における異常兆候の早期検知に関する研究	張 声龍●(大学院生) 呂 仁国 システム理工学部 機械工学科 教授 谷 弘詞 システム理工学部 機械工学科 教授 川田 将平 システム理工学部 機械工学科 准教授 小金沢 新治 システム理工学部 機械工学科 教授	
		タイヤマウントセンサによる路面摩擦係数の推定	石田 皓己●(大学院生) 谷 弘詞 システム理工学部 機械工学科 教授 川田 将平 システム理工学部 機械工学科 准教授 呂 仁国 システム理工学部 機械工学科 教授 小金沢 新治 システム理工学部 機械工学科 教授	
2025. 1. 23	人工物・システムの設計・製造・運用における暗黙知	人工物・システムの設計・製造・運用における暗黙知 ー概要と活動内容ー	細川 茂雄 社会安全学部 安全マネジメント学科 教授	100周年 記念会館・ Zoom 配信
		【招待講演】 テーマ発足の経緯とねらい	安部 誠治 関西大学 名誉教授	
		【招待講演】 原子力発電に関わる暗黙知	小澤 守 関西大学 名誉教授	
	CPS 実現に向けた バイオインターフェース	【招待講演】 ヒトを模して人を越えるための機械触覚技術の開発と応用	野間 春生 立命館大学 情報理工学部 教授	100周年 記念会館
		モリアオガエルを模倣した触覚センサ付きロボットグリップの開発	鈴木 昌人 システム理工学部 機械工学科 教授	
		視覚ベースの 3 軸力測定機能を備えたマイクロ吸盤アレイの開発	金澤 祐真●(大学院生)	
	気候変動に適応した健康まちづくり	【招待講演】 救急搬送者を一人でも減らすための熱中症対策 ～吹田市の取組～	楠本 直樹 吹田市役所 環境部 次長	100周年 記念会館
		高齢者の熱中症に対する意識	尾崎 平 環境都市工学部 都市システム工学科 教授	
		医療・健康サービスへのアクセシビリティ分析	北詰 恵一 環境都市工学部 都市システム工学科 教授	
	インフラマネジメント	地盤工学問題に対する AI の活用 ートンネル施工時の岩盤評価と地下水観測井水位の将来予測ー	楠見 晴重 環境都市工学部 特別任命教授	100周年 記念会館
		オノマトベと触覚のデジタル化への一考察	北岡 貴文 環境都市工学部 都市システム工学科 准教授	
		深層学習を用いた部材検出に関する検討 ー工場における 工程管理の効率化を目指してー	王 瑞鵬●(大学院生) 山本 雄平 環境都市工学部 都市システム工学科 助教 姜 文淵 大阪産業大学 准教授 尹 禮分 環境都市工学部 都市システム工学科 教授	
2025. 1. 24	社会安全イノベーション に貢献する大阪梅田にお けるネットワークハブ構 築	【招待講演】 大阪・梅田における南海トラフ巨大地震対策の課題と展望 ー報道記者の観点からー	藤島 新也 日本放送協会 大阪放送局	100周年 記念会館
		【招待講演】 社会課題への取り組みとその意義 ー災害支援を事例にー	松井 俊典 株式会社ゼンショーグローバルファストホールデ ィングス グローバルファスト管理部 営業総務室 室長	
		御堂筋沿いの建物の津波避難施設としての利用可能性	奥村 与志弘● 社会安全学部 安全マネジメント学科 教授 前田 結衣(学部生)	
	メタバースによる 文化財の発展的活用に関 する研究	中国・敦煌莫高窟の宗教空間と彩色壁画	末森 薫 国立民族学博物館	100周年 記念会館・ Zoom 配信
【招待講演】 ハイバースペクトル計測に基づいた仏教壁画の分光分析 と人間の視覚特性を考慮した色再現処理		川口 拓哉 かたち株式会社		
ハイバースペクトル画像を活用した VR による宗教的空間 の再現の試み		藤原 智晴(大学院生)		

※●は講演者

開催日	研究グループ	演題	講演者	会場
		エジプト古代壁画復元における3次元DXの活用	安室 喜弘 環境都市工学部 都市システム工学科 教授	
2025. 1. 24	人間・環境系の生体応答・感覚モデル	【招待講演】 熱画像による温冷感予測	久保 博子 奈良女子大学 副学長	100周年 記念会館・ Zoom 配信
		風や着衣が睡眠時の人体に及ぼす影響	堀川 聖太 (大学院生)	
		【招待講演】 腸内環境から考える健康科学の将来像	細見 晃司 大阪公立大学 獣医感染症学教室 准教授	
	マイクロバイオーーム	狙った細菌を選択的に殺菌する遺伝子標的型新規抗菌システムの開発	山中 一也 化学生命工学部 生命・生物工学科 教授	100周年 記念会館
		バクテリオファージを用いた菌叢改変技術の開発	岡野 憲司 化学生命工学部 生命・生物工学科 准教授	
		【招待講演】 災害時のICT活用 ―自分を守る・みんなを助ける―	内田 理 東海大学 情報理工学部 情報メディア学科 教授	
	災害にフレキシブルな緊急救命避難支援	緊急救命避難支援システム(ERESS)のための深層学習を用いた災害検知法	森 和也● (大学院生) 和田 友孝 システム理工学部 電気電子情報工学科 教授 大月 一弘 放送大学	100周年 記念会館
		映像から獲得する動作軌道のためのオクルージョン処理法	林 勲● 総合情報学部 総合情報学科 教授 入江 穂乃香 兵庫県立大学 馮 楊蘊 ソフトバンク株式会社	
		【特別講演】 関節リウマチ治療の現状と課題	小谷 卓矢 大阪医科薬科大学 内科学IV リウマチ膠原病内科 講師	
	メディカルポリマー・デバイス	BMP徐放型ポリマーコンジュゲートによる骨形成誘導	岩崎 泰彦 化学生命工学部 化学・物質工学科 教授	100周年 記念会館
		抗がん剤キャリアとしてのDNAオリガミドンドリマー	葛谷 明紀 化学生命工学部 化学・物質工学科 教授	
		関節リウマチ治療薬の患部への能動的送達を目指した血小板ヒッチハイキング分子技術	柿木 佐知朗 化学生命工学部 化学・物質工学科 教授	
		Immobilization of collagen backbone-inspired oligopeptide effectively prevents biofouling on material surfaces	ムニラ ジャミル ポスト・ドクトラル・フェロー	
		脂肪由来幹細胞デリバリーののための温度応答型インジェクタブルゲル	村瀬 敦郎 特別任用助教	
		Therapeutic Potential of a Butyrate-loaded Nanoparticle Prodrug in Diverse In Vivo Disease Models	バビータ シャスニ 特別任用助教	
加熱によりゲルからゾルへと相転移するスマートソフトマテリアルの設計		河村 暁文 化学生命工学部 化学・物質工学科 教授		
膜透過性ポリマーベシクルへのタンパク質高効率内包化を目指した取り組み		奥野 陽太 化学生命工学部 化学・物質工学科 助教		

※●は講演者

2 研究部門別発表会

No. (参加人数)	開催日	部門	テーマ	講演者	会場
No. 72 (20名)	2024. 11. 14	N(新物質・機能素子・生産技術)研究部門	医薬品・機能性材料合成(ファインケミカル合成)のための最先端触媒開発 ～大学と国研との官学連携の方向性～	大洞 康嗣 化学生命工学部 化学・物質工学科 教授 山田 陽一 国立研究開発法人理化学研究所環境資源科学研究センター グリーンナノ触媒研究チームチームリーダー	学術フロンティア・コア3階会議室
No. 73 (93名)	2024. 10. 17	N(新物質・機能素子・生産技術)研究部門	動的構造を導入した機能性高分子の創出	河村 暁文 化学生命工学部 化学・物質工学科 教授 高田 十志和 東京工業大学 名誉教授	第4学舎 3号館 3401教室
No. 74 (53名)	2025. 1. 20	N(新物質・機能素子・生産技術)研究部門	表面・界面を利用した材料開発の基礎と応用	宮田 隆志 化学生命工学部 化学・物質工学科 教授 中尾 愛子 早稲田大学 教育・総合科学学術院 非常勤講師 中尾 真一 東京大学 名誉教授 工学院大学 名誉教授	第4学舎 3号館 3401教室

3 研究成果・広報刊行物

- 『先端科学技術推進機構 バンフレット』(1,000部)
- 『技苑』「研究者総覧」(900部)、「研究者総覧 英語版」(700部)、『技苑』「2023年度研究成果報告書」(900部)
- 『先端機構ニュース Re:ORDIST』(179号 1,100部, 180号 1,600部)
- 『第29回 関西大学先端科学技術シンポジウム講演集』(100部)
- 『第29回 関西大学先端科学技術シンポジウム(リーフレット)』(7,500部)

II 研究グループ・研究会

1 研究グループ(11グループ)

- インフラマネジメント研究グループ (研究期間：2022年度～2024年度)
- 気候変動に適応した健康まちづくり研究グループ (研究期間：2022年度～2024年度)
- メタバースによる文化財の発展的活用に関する研究グループ (研究期間：2023年度～2025年度)
- CPS実現に向けたバイオインターフェース研究グループ (研究期間：2023年度～2025年度)
- マイクロバイオーム研究グループ (研究期間：2023年度～2025年度)
- 人間・環境系の生態応答・感覚モデル研究グループ (研究期間：2023年度～2025年度)
- 社会安全イノベーションに貢献する大阪梅田におけるネットワークハブ構築研究グループ (研究期間：2023年度～2025年度)
- 橋梁・機械設備の健全性モニタリング研究グループ (研究期間：2024年度～2026年度)
- バイオインターフェース研究グループ (研究期間：2024年度～2026年度)
- 災害にフレキシブルな緊急救命避難支援研究グループ (研究期間：2024年度～2026年度)
- 人工物・システムの設計・製造・運用における暗黙知研究グループ (研究期間：2024年度～2026年度)

2 研究会(6研究会)

- サンゴ群集再生技術研究会 (研究期間：2020年度～2024年度)
- wearable device研究会 (研究期間：2020年度～2024年度)
- 金属加工プロセス高度化研究会 (研究期間：2023年度～2025年度)
- 深層学習とその応用研究会 (研究期間：2023年度～2025年度)
- 元素循環技術研究会 (研究期間：2023年度～2027年度)
- 流体科学研究会 (研究期間：2024年度～2028年度)

III 戦略研究総合センター、医工業連携研究センター 他

1 医工業連携研究センター

- 医工業連携研究費
 - ・抗がん活性を目指した新規ルテニウム錯体の開発 (研究期間：2023年度～2024年度)
 - ・概日リズム解析に基づいた光免疫療法の最適化 (研究期間：2024年度～2025年度)

2 関大メディカルポリマー研究センター

- ・関西大学研究ブランディング事業
「『人に届く』関大メディカルポリマーによる未来医療の創出」 (研究期間：2021年度～)

3 講演会等

- 関大メディカルポリマーシンポジウム (1件)
- 関大メディカルポリマー (KUMP) による展示会 (2件)
- 研究部門による外国語講演会 (3回)
- 招へい研究者による特別講演会 (1回)
- 医工業連携研究センター 特別講演会 (2回)
- 研究会による講演会 (1回)

Ⅲ 産学官連携への取組み

1 展示会への出店

開催日	名称	出展内容	会場	主催
2024. 8. 22～23	大学見本市 2024 ～イノベーション・ジャパン～	「先進粉末！液体金属の高機能化：熱・電導と触媒」 川崎英也（化学生命工学部 教授） 「分子の絡み合いからなる新しいヒドロゲル材料」 大矢裕一（化学生命工学部 教授） 「ゼオライト新章。シン・ゼオライトの機能・作り方・使い方」 田中 俊輔（環境都市工学部 教授） 「コミュニケーションにおける雰囲気推定技術」 瀬島 吉裕（総合情報学部 准教授） 「コンピューターホログラフィによる裸眼 3D ディスプレイ」 西 寛仁（システム理工学部 助教）	東京ビッグサイト	国立研究開発法人 科学技術振興機構
2024. 11. 6～7	きたしんビジネスマッチング フェア 2024	関西大学における産学官連携の取組	マイドームおおさか	北おおさか信用金庫
2025. 2. 13～14	京都ビジネス交流フェア 2025	「マイクロカレント発生機能組込みインソールの開発」 谷 弘詞（システム理工学部 教授）	京都パルスプラザ	京都府・公益財団法人 京都産業 21

2 セミナー・研究会活動

(1) 新技術説明会

主催：国立研究開発法人 科学技術振興機構

開催日	演題	講師	会場
2024. 9. 17	骨に集まり骨粗鬆症を改善する高分子医薬	岩崎 泰彦（化学生命工学部 教授）	オンライン開催
	抗癌性を有する新規ルテニウムピリジル錯体	石田 斉（化学生命工学部 教授）	
	有機分子変換用 Ti 合金触媒とその工業的機能性	近藤 亮太（化学生命工学部 教授）	
	MAX 相（先端 2D 材料 Mxene の前駆体）の革新的合成方法	稲田 真（システム理工学部 教授）	
2025. 3. 13	1 電流駆動型多ビット磁気メモリ素子	本多周太（システム理工学部 助教）	

(2) はりま産学交流会

主催：はりま産学交流会

開催日	演題	講師	会場
2024. 7. 19	動画・拡張現実の制作を考える／AI 技術と情報発信の関係	長谷 海平（総合情報学部 准教授）	ハイブリッド開催（オンライン）
2024. 10. 18	認知機能向上のための運動とは？！	弘原海 剛（人間健康学部 教授）	

(3) 【MOBIO-Cafe】ここからはじまる産学連携『関西大学』

主催：大阪産業局

開催日	演題	講師	会場
2024. 10. 8	鋼構造物の損傷モニタリング	石川 敏之（環境都市工学部 教授）	クリエイション・コア東大阪

(4) 【MOBIO-Cafe】<オンライン開催>MOBIO産学連携 合同シーズ発表会

主催：大阪産業局

開催日	演題	講師	会場
2024. 10. 29	粉末冶金技術による複合材料の開発-金属と非金属の複合化	佐藤 知広（システム理工学部 教授）	オンライン開催
	液晶性エポキシ樹脂を用いた高熱伝導化技術	原田美由紀（化学生命工学部 教授）	

(5) ベーショントリウムKANSAI 8.0

主催：一般社団法人うめきた未来イノベーション機構

開催日	演題	講師	会場
2024. 11. 28 ～29	カーボンニュートラル研究センターの取組紹介	—	ナレッジキャピタ コングレコンベンションセンター
	マイクロカレント発生機能組込みインソールの開発	谷 弘詞（システム理工学部 教授）	ナレッジキャピタル
	トリフェニルアミン型近赤外吸収色素 (有機溶媒に可溶で、容易に合成できる近赤外線吸収材料)	矢野 将文（化学生命工学部 教授）	コングレコンベンションセンター (MOBIO プース)

3 外部資金獲得状況

○受託研究	59件	301,919,145円
○試験・分析	14件	4,136,000円
○学術指導費	22件	16,971,500円
○学外共同研究	140件	260,593,148円
○受託研究員	2件	242,000円
○指定寄付金	81件	88,217,190円
○その他の助成金	1件	27,090,000円

先端科学技術推進機構取扱分 合計 319件 699,168,983円 (2025年3月31日現在)

(ご参考・2023年度実績)

先端科学技術推進機構取扱分 合計 333件 762,674,916円 (2024年3月31日現在)

V 知的財産関係

1 発明届出状況（社会連携部 知財センターへの発明届出）[2025.3.31 時点、先端科学技術推進機構研究員のみ]

発明届出件数：67 件

研究部門	発明研究員					
	N	青柳誠司	石川正司	伊藤 健	大洞康嗣	奥野亮太
河村暁文		葛谷明紀	工藤宏人	小金沢新治	三田文雄	曾川洋光
田實佳郎		谷 弘詞	原田美由紀	平野義明	藤本和士	星山康洋
本多周太						
I	梶川嘉延	滝沢泰久	田中成典	山西良典		
B	鈴木 哲	瀬島吉裕	山口総一朗			
E	近藤亮太	田中俊輔	福 康二郎	松岡光昭	山本秀樹	

2 法人承継特許等出願状況(特許協力条約(PCTルート)に基づく国際特許出願)

発明件数：7 件

研究部門	発明研究員		
	N	石川正司	工藤宏人
I	梶川嘉延		
B	山中一也		

3 法人承継特許等出願状況(特許協力条約(PCTルート)からの指定国移行およびパリルート出願)

発明件数：21 件

研究部門	発明研究員					
	N	青柳誠司	石川正司	工藤宏人	谷 弘詞	原田美由紀
I	梶川嘉延					

4 法人承継特許登録状況(特許権の設定登録)

発明件数：32 件

研究部門	発明研究員					
	N	石川正司	川崎英也	工藤宏人	田實佳郎	谷 弘詞
本多周太		宮田隆志				
I	梶川嘉延	林 貴宏	松島恭治			
B	老川典夫	長岡康夫				
E	荒木貞夫	近藤亮太	三宅孝典			

2024(令和6)年度 事業実施状況 / 科学技術振興会

<会員数> (2025年3月31日現在)

会員数59件(法人会員52件、個人会員7件)

<関西大学科学技術振興会の概要>

同振興会は、産業界と工業技術研究所が技術開発についての情報を相互に交換し、交流を深める場として、1965年に設立されました。その後、2002年に「工業技術研究所」が組織改革により「先端科学技術推進機構」と名称変更したことに伴い、同年「関西大学科学技術振興会」と改称し、現在に至っています。(※2007年度からシステム理工学部、環境都市工学部、化学生命工学部に改組改編)

<2024年度 事業報告(概要)>

2024年度は、活動テーマを「急速に進化する革新的技術と大阪・関西万博を知ろう」とし、関大が研究する様々な革新的技術を会員の皆様と共有しながら、開催が差し迫った大阪・関西万博の大阪ヘルスケアパビリオンへの支援など、皆さまと共に発展できるよう、様々な活動を展開いたしました。本年度実施した事業活動の概要は、次のとおりです。

1 研究会等の実施 計5回開催

研究会の企画は、本会の学内幹事であるコーディネーターが担当し、本会会員、先端機構研究員、学生等が出席しました。

(1) <第1回研究会> 2024年5月18日(土)

2023年度「学の実化賞」受賞記念講演

演題:「人に寄り添う瞳孔反応傾聴ロボットの開発」

講師:総合情報学部 教授 瀬島 吉裕

(2) <第2回研究会> 2024年6月25日(火)

1)演題:チタン今昔 チタンに関わって45年

講師:株式会社日本スベリア社 常任顧問/関西大学名誉教授 池田 勝彦

2)演題:海外子会社の経営を担う人材を養成する大学院教育プログラム

講師:関西大学専門職大学院 会計研究科教授 プログラムコーディネーター 三島 徹也

(3) <第3回研究会> 2024年9月27日(金)

TOA株式会社 ナレッジスクエアにおいて見学会を開催

(4) <第4回研究会> 2024年11月22日(金)

1)会員企業 事業紹介

三和バックギン工業 株式会社 顧問 秋本 一世

2)関西大学からのご案内

関西大学理工系学生の就職状況、就活状況の最前線 関西大学キャリアセンター事務局 次長 伊藤 邦典

(5) <第5回研究会> 2025年1月23日(木)~24日(金)

「第29回先端科学技術シンポジウム」に参加

当会活動紹介をパネルにて会場展示

2 人的ネットワーク形成の促進

(1) 第29回先端科学技術シンポジウム(2025年1月23日(木)~24日(金))において、先端機構研究員との交流の場の設定

(2) 研究会時に会員同士の交流の深化を目的に、会員企業PRの場の設定

(3) 研究会にて会員、その他の出席者や学生との交流を実施

(4) 会員企業への訪問を継続して実施

(5) 会員と先端機構研究員の親睦ゴルフコンペ「機構長杯」を開催(2024年4月13日(土)、2024年11月2日(土))

(6) 会員企業への訪問を継続して実施

3 研究助成事業の企画・推進

当会表彰規程による表彰事業において助成を行いました(合計 1,125,616円)。

(1) 学の実化賞 1件1名の表彰

(2) 研究奨励賞 8件9名の表彰

4 表彰制度の推進

表彰規程による表彰審査委員会の結果、2023年度における対象につき、第21回となる「学の実化賞」をはじめ各賞について、2024年度総会で表彰しました。

【学の実化賞 1件、産学連携賞 該当なし、技術開発賞 該当なし、研究奨励賞 8件】

5 広報活動の推進

当会の広報誌「What's New From ASCIKU」の各号およびWEBサイトにおいて、会員および研究員(特別会員)の特筆記事や研究成果の記事などを積極的に取り上げ、情報の共有による交流の拡大を図りました。

6 役員会・総会の開催

(1) 第1回役員会 2024年4月23日 18:00~

2023年度事業報告・決算(案)、2024年度事業計画・予算・役員(案)、2024年度総会事項、表彰審査委員会

(2) 2024年度総会 2024年5月18日(土) 14:00~15:00

場所:関西大学校友・父母会館 2階会議室

2023年度事業報告・決算、2024年度事業計画・予算・役員、表彰式